

令和5年10月2日



園長 中川 宏美

みらいだより

猛烈に暑かった日々がやっと終わり、戸外での遊びや散歩がのびのび行える季節になってきました。戸外の活動にも一段と活発さがみられるようになり、子どもたちは、運動あそびに意欲的に取り組んでいます。運動会では、日頃の全身運動（はいはい、歩く、走る、くぐる、跳ぶ、のぼる、押すなど）を、それぞれの発達に応じて活動している姿を、できた、できないではなく、そのものに向かっている子どもの気持ちを励まし、応援していただけたらと思っています。

| 10月 | | | |
|-----|----|---|--|
| 月 | 日 | 曜 | 行事予定 |
| 10 | 5 | 木 | 運動会全体リハーサル(たけのこ・りす・うさぎ・そら・ひかり) |
| | 14 | 土 | ・第9回 運動会(たけのこ・りす・うさぎ・そら・ひかり) ・お弁当の日 |
| | 18 | 水 | 身体測定(0・1・5歳児) |
| | 19 | 木 | 身体測定(2・3・4歳児) |
| | 28 | 土 | お弁当の日 |

※変更の場合あり

9/9 どんぐり組保護者交流会(運動遊び)

○ハイハイやすりばいの重要性が理解できた。
 ○園でのいつもの様子を見る事ができて良かった。急な坂もちゃんと手足をしっかりと使って登り降りしているんだなと感心した。
 ○友だちがやっていることをよく見えて、同じ年齢のお友だちから受ける刺激の強さを感じた。
 ○畳を登る時も足の指をしっかりと使っていた。
 ○どんどん大きくなる事を感じられるので嬉しい。
 ○園でちゃんと自分を出せていて、先生を信頼していることに成長を感じた。

(保護者アンケートから)



9/18 広島県教育委員会主催 **遊びは学び**

～気づきひとつで子育ては楽しくなる～

講師：井桁容子(保育 SoW ラボ代表)

オンラインで受講しました。印象に残った内容を紹介します。

のびのび すくすく いきいき キラキラした子育て

- ・比べない
- ・叱る前にDND(どうなんだろう)と訳を知ろうとする
- ・子どもが面白い、不思議と思って夢中になっているときは邪魔しない
- ・我慢を教えることよりも見る力を育てる
- ・ダメなところを指摘するよりも、よいところを応援する
- ・うれしい、楽しいに共感する

「立派な大人よりも、 ごきげんな大人が子どもを幸せにする」

子どもは、自分で育つ力を持っています。大人の役割は、子どもが幸せに生きるためにその育ちを応援することだと再確認しました。



みらいこども園の運動会

- ①日々の保育の延長線上に運動会があること
- ②子どもに無理のない計画であること
- ③楽しみながら意欲を高め、主体的に参加できるよう配慮すること

※本番そのものよりも、運動会当日までのプロセスが子どもの成長の援助になっており、大切な体験だと考えて、精神面、身体面の育ちを意識し日常の保育で積み重ねています。

どんぐり組（0歳児）：「寄り添う」

泣いている友達の側に行き、頭を撫でたり、空を指さして何かを伝えようとしたり、いろいろな仕草で関わります。自分が泣いている時に、寄り添ってもらったことを友だちにも同じように寄り添い共感しています。



たけのこ組（1歳児）：「いっしょに」

2人が電車にみたくて遊んでいるフープに「いれて～」と入っていきます。友だちの遊びに興味を持ち「わたしも」「ぼくも」「いっしょに」を楽しむようになっていきます。3人が歩調を合わせて歩いているように見えました。

りす組（2歳児）：「こうやってしたいの！」

「お城作ってるんだ」「私もやってあげる」「向きが違うこっちじゃないよ!」「私もやりたいんだってば!」「こっち向きであってる?」「いいよ」自分のイメージを友だちに伝え、遊びを共有しています。思いの違いにも、お互いが折り合いをつけながら、友だちとの関わり方を学んでいます。



うさぎ組（3歳児）：「ぜったい、きいろ!!」

散歩で収穫したよもぎ「なんかお芋のにおいがするね」と小さくちぎり、煮詰めていきます。「湯気がでてきた」「なんかほうれん草みたい」「よもぎは、絶対みどりになるよね」「きいろになるんじゃない」「ぼくは、茶色だと思う」自分の考えを友だちに伝え、染め色にわくわく期待が膨らみます。染めた布をみて「黄色になっとる!」「みどりにもみえるよ」感受性豊かに表現しています。

そら組（4歳児）：「試行錯誤」

そうめん流しに使った長い竹で、水遊びをしようと考え2階から降ろそうとします。「引っ掛かったよ」「動かんじゃん」「回転したらいいじゃん」「そっち上げて」「一緒にあげよう」「あっ、回転しそう」「回った～」「前気を付けてね」みんなで知恵を出しながら、長い竹の扱い方を試行錯誤し協力してやり遂げます。



ひかり組（5歳児）：「だれを残すか」問題・・・

「この貝、昨日は石の上にあったのにバケツに張り付いている」「やごにかじられている」「えびも食べられている」「アメンボとメダカと貝は一緒の家でいいと思うよ」「でもヤゴだけにしたら、ヤゴの餌がなくて死んじゃうよ」「でも、めだかも残り2匹、全部いなくなっちゃうじゃん」川から持って帰った生き物の家作り、知識や経験を活かして、生き物の命の選択・生態系を実体験で学んでいます。